

後 援

文部省、環境庁、兵庫県、兵庫県教育委員会
神戸市、神戸市教育委員会、神戸市市民局

協 賛

甲南大学平生太郎科学助成金
甲南大学総合研究所「環境学の教育推進」研究会
甲南大学国際交流委員会、「地球環境と世界市民」国際協会

※参加費：1,500円（資料代）

※参加希望者はこのハガキに必要な事項を記入してご返送下さい。

参加申込書

フリガナ
◆氏 名 _____

◆住 所 〒 _____

◆電話番号 () _____

◆FAX番号 () _____

◆所 属 (所属団体または勤務先、学校名等) _____

TEL () _____

◆職業分類 (該当項目にチェックして下さい)

- 公務員 団体職員 農林業
会社員 学生 その他 ()

◆参加日 (該当項目にチェックして下さい)

- 学 生 会 議 (3月20日・金)
シンポジウム1 (3月21日・土)
シンポジウム2 (3月22日・日)

◆交流会・懇親会 (該当項目にチェックして下さい)

- 交流会 (20日・昼) 1,000円
懇親会 (21日・夜) 4,500円

◆参加人数 () 人

国際シンポジウム'98

環境倫理と環境教育

— 科学技術と人間性をめぐって —

1998年3月20日(金)～22日(日)

会場 甲南大学8号館(813教室)



甲南大学 日本環境教育学会

記念講演

田 徳祥 Tian Dexiang 氏
(中国・北京大学 教授)

「科学技術と環境倫理—中国の放射線防護政策をめぐって—」

シリワット・ソンドロトック Siritwat Soondarotok 氏
(タイ・ラジャバト王立研究所 助教授)

「農業と自然環境—タイの農業技術と自然の回復—」

ナンシー・ターナ Nancy J. Turner 氏
(カナダ・ヴィクトリア大学 教授)

「植物と生態系—カナダのファースト・ネイションの心の環境—」

李 時載 Seejae Lee 氏
(韓国・カトリック大学 教授)

「環境運動と環境教育—韓国の社会教育をめぐって—」

リチャード・スミス Richard Smith 氏
(オーストラリア・“オーストラリア環境教育誌” 編集長)
「地球環境と環境教育—オーストラリアの環境教育の実践事例を中心に—」

鈴木 善次 Zenji Suzuki 氏
(日本・大阪教育大学 教授)

「環境教育の現在—日本の環境教育の展開—」

問い合わせ先

国際シンポジウム実行委員会事務局・谷口研究室(甲南大学・文学部)
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL・FAX 078-435-2368

会場案内

○阪急「岡本」駅・JR神戸線「摂津本山」駅から徒歩10分



国際シンポジウム'98

テ ー マ

環境倫理と環境教育
— 科学技術と人間性をめぐって —

主 旨

前回の国際シンポジウム'96「環境倫理と環境教育—自然との共生をめざして—」(1996年12月14日)をふまえて、今回は「環境倫理と環境教育—科学技術と人間性をめぐって—」を1998年3月20日～22日におこないます。今回の主旨は、環境倫理の共通の枠組みをつくることであり、その枠組みの中における地域に固有な環境教育の具体化でした。その成果は、環境倫理に関しては善(good)と悪(evil)のハードな知的判断の基準ではなく、健全(sound)か不健全(unsound)かのソフトな情動的判断の基準によるパラダイムであり、環境教育に関してはそのような環境倫理の下で具体的な教育実践を求めるものでした。

今回は、それをいっそう推しすすめることをめざして、「科学技術と人間性」の問題をとりあげます。地球環境問題の解決のためには、科学技術と人間性をめぐる21世紀の環境倫理の構築と環境教育の実践が必要となるでしょう。そのために、日本だけではなく、中国、タイ、韓国、カナダ、オーストラリアから専門家を招聘し、各国の環境倫理と環境教育について議論を展開する予定です。

今回のシンポジウムの主旨は、「健全か不健全か」という環境倫理の柔軟な共通の枠組の展開と環境教育の地域的な具体化に際して、「自然環境における科学技術」(シンポジウムⅠ)と「社会環境における人間性」(シンポジウムⅡ)の議論を通じて、「環境倫理と環境教育をめぐる科学技術と人間性の問題」(シンポジウムⅢ総合討論)を問うことであります。なお、次世代を担う若者たちのプレ・シンポジウム「未来の地球環境を考える—日本と中国の連携—」も企画しています。

プログラム

3月20日(金) プレ・シンポジウム

- 9:30 受付開始
- 10:00 あいさつ
- 10:10 学生会議 甲南大学=北京大学・学生会議
テーマ「未来の地球環境を考える-日本と中国の連携-」
◆司 会：谷口文章(甲南大学教授)
◆コメンテーター：田 徳祥 Tian Dexiang(北京大学教授)
◆日本側：甲南大学 学生、他大学 学生
◆外国側：北京大学 学生(甯洪運、毛小荃、李 廣南)
- 12:00 昼食・交流会(甲南大学会議室)
- 13:30 学生会議(総合討論)
- 15:30 休憩
- 15:40 特別講演 田 徳祥 Tian Dexiang(北京大学 教授)
「科学と中国の未来—21世紀の地球環境をめぐる—」
- 17:10 あいさつ

3月21日(土) シンポジウム 第1日目

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会式 あいさつ・中西典彦(甲南大学 学長)
- 10:10 記念講演(1人40分)
田 徳祥 Tian Dexiang(中国・北京大学 教授)
シリワット・ソンドロトック Siriwat Soondarotok
(タイ・ラジャバト王立研究所 助教授)
ナンシー・ターナ Nancy J. Turner
(カナダ・ヴィクトリア大学 教授)
- 12:10 昼食(甲南大学生協食堂)
- 13:00 李 時載 Li Seejae(韓国・カトリック大学 教授)
リチャード・スミス Richard Smith
(オーストラリア・“オーストラリア環境教育誌” 編集長)
鈴木 善次(日本・大阪教育大学 教授)
- 15:00 休憩
- 15:10 シンポジウムⅠ テーマ「自然環境における科学技術」
◆司 会：太田雅久(甲南大学 教授)
◆コメンテーター：鈴木 善次(日本・大阪教育大学 教授)
◆外国側報告者：
田 徳祥 Tian Dexiang「科学技術と人間」
シリワット・ソンドロトック Siriwat Soondarotok
「科学技術と農業」
ナンシー・ターナ Nancy J. Turner「科学技術をめぐる植物と生態系」
◆日本側報告者：
村上温夫(甲南大学 教授)「科学技術と人工環境」
今井佐金吾(神戸市環境保健研究所 部長)「科学技術と公害問題」
- 17:40 あいさつ・小川守正(甲南大学 理事長)
- 18:00 懇親会(甲南大学生協食堂)

3月22日(日) シンポジウム 第2日目

- 9:30 受付開始
- 10:00 あいさつ・日本環境教育学会からのメッセージ
阿部 治(日本環境教育学会国際交流委員会委員長)
- 10:10 シンポジウムⅡ テーマ「社会環境における人間性」
◆司 会：藤本建夫(甲南大学 教授)
◆コメンテーター：鳥越皓之(関西学院大学 教授)
◆外国側報告者：
李 時載 Seejae Lee「環境倫理と開発政策」
リチャード・スミス Richard Smith「人間性と環境教育」
アンナ・フォード Anna Ford(カナダ・甲南大学 講師)
「人間性を培う環境文学」
◆日本側報告者：
潮海一雄(甲南大学 教授)「日本の環境基本法と人権」
中丸寛信(甲南大学 教授)「人間性と企業倫理」
- 12:40 昼食(甲南大学生協食堂)
- 13:30 フィーリング・アーツ 「音と色彩の環境芸術」
- 14:30 シンポジウムⅢ [パネルディスカッション]
テーマ「環境倫理と環境教育をめぐる科学技術と人間性の問題」
◆座 長：谷口文章(甲南大学 教授)
◆外国側パネリスト：
田 徳祥 Tian Dexiang：物理学の立場から

シリワット・ソンドロトック Siriwat Soondarotok :
大学環境教育の立場から
ナンシー・ターナ Nancy J. Turner : 先住民の人権の立場から
李 時載 Seejae Lee : 環境社会学の立場から
リチャード・スミス Richard Smith :
欧米の環境教育の立場から

◆日本側パネリスト：
村上温夫(甲南大学 教授) : 情報科学の立場から
鳥越皓之(関西学院大学 教授) : 環境民俗学の立場から

17:00 閉会式

50円切手を
貼って下さい

658 8501

国際シンポジウム'98

事務局 行

甲南大学文学部

谷口文章研究室

気付

神戸市東灘区岡本8丁目9-1